

遺愛合唱コンクール、どのクラスも とても素晴らしい合唱でした！！

2024 年度合唱コンクールが 7 月 12 日（金）8:50 より、**エアコン**が**しっかりとはいった遺愛アリーナ（大体育館）**で開催されました。遺愛の合唱コンクールは 1967 年に初めて開催されたので、今年は、58 回目になりました。コロナの中でも規模を縮小し、「讃美歌フェスティバル」という形で続けられてきました。

今年はコロナ以前に完全に戻り、各クラス課題曲・自由曲を 2 曲歌い、審査が行われました。審査員の先生方は、武蔵野音大出身で、現在北海道教育大非常勤講師をされている畑中佳子先生、国立音大出身で、遺愛の月曜礼拝でもご奉仕下さっている本多依子先生、現役の五稜郭中学校の音楽教諭で、吹奏楽部の指導をされている五島明子先生の 3 名でした。

今年卒業した先輩が、遺愛の合唱コンクールについて「遺愛の合唱コンクールはとても素晴らしかったです。クラスでは、練習の時は熱量差があって、すれ違うことも多かったけど、本番の一体感が忘れられません。とても楽しい行事でした。」と語っていました。

中 1 から高 3 まで全部で 23 クラスの合唱を聴くことができました。どのクラスも一体感を感じるととても素晴らしい合唱でした。

最後に、音楽部が NHK 全国学校音楽コンクール課題曲『明日へのノート』を歌ってくれましたが、さすが美しいハーモニーでした。

2024 年 7 月 13 日（土）

